

2025 年 7 月 10 日

株式会社うるる

第 25 回定時株主総会(2025 年 6 月 26 日開催) 質疑応答

2025 年 6 月 26 日（木）に開催いたしました、第 25 回定時株主総会での質疑応答について、要旨を下記のとおり公開いたします。インターネット上でのみ開催する「バーチャルオンリー株主総会」でした。総会前日までに届いた事前質問は 4 問あり、総会当日中の質問は 2 問いただきました。いずれの質問も、総会参加用 Web サイトより受け付けました。

なお、頂戴したご質問は原文ママで記載しております。

<事前質問>

Q1：

バーチャルオンリー総会は反対です。会場による開催も検討してください。

A1：

今回の株主総会については、遠方にお住まいの株主様、お仕事やご家庭の事情で時間の制約がある株主様、また、ご高齢であったり、健康上の理由で外出が難しい株主様など、あらゆる状況の株主様が、場所や時間、当日の交通事情等の制約なくご参加いただけるようにするため、バーチャルオンリー総会といたしました。

一方で、ご質問者様からのご指摘はおそらく、経営陣と株主様が直接顔を合わせ、その場の空気感や熱量を共有しながら対話できるという会場開催のメリットを念頭に置いていらっしゃるのではないかと拝察しておりまして、当社としても、その価値や重要性も理解しております。

頂戴したご意見も参考にさせていただきながら、今後の株主総会の最適なあり方を改めて検討してまいります。

引き続き、株主の皆様との対話を重視し経営に努めてまいりますので、ご支援のほどお願い申し上げます。

Q2：

IR は定期的に発信されていますが、株価を意識したとは到底思えず、結果が株価と出来高に現れています。薄情の IR に尽力するのであれば、IR 回数を減らし市場関係者が興味を引く IR を発信していただきたいです。これを踏まえて今後の IR の方向性を示していただきたいです。

A2：

これまでの IR につきまして、当社の事業内容をより幅広くお伝えすることでビジネス全体を理解していただくことに努めてまいりました。

今後の IR においては、継続的な情報開示という基本は守りつつ、情報の質を一層高めてまいります。株主をはじめとしたステークホルダー皆様のご期待に応える魅力ある情報発信に努める所存です。

Q3：

出来高が 1000 株未満が時折見られます。自社株買いなど対策する様子も見受けられませんが、上場企業としての責務を果たしていないと思いますが、それについてどのようにお考えでしょうか。

A3：

ご指摘の通り、当社株式の流動性向上は重要な経営課題の一つと捉えており、この状況を真摯に受け止めております。

今後は、「ULURU sustainable growth」で掲げている持続的・安定的な成長を続けていくことで企業価値向上に努めるとともに、より多くの投資家の皆様に当社をご理解いただくため、IR 活動を一層強化し、皆様との対話の機会を積極的に増やしていくとともに、流動性向上につながる具体的な施策を検討していく所存です。

なお、ご提案いただいた自社株買いにつきましては、一般的には有効な株価対策の一つと言われている一方で、当社においては、自社株買いを行うことで、まさにご質問者様が懸念されている流動性がさらに低下してしまうリスクが考えられること、「ULURU sustainable growth」で掲げた中長期的な成長を実現するための成長投資を優先させる必要があることから、現時点では、積極的には検討は行っておりません。

Q4：

自治体が随意契約できる金額が引き上げられたが、影響はあるのでしょうか。

A4：

現時点で、NJSS 上の、一般競争入札や随意契約などの入札形式の登録件数変化を確認したところ、昨年までの登録状況と大きな変化は確認されませんでした。そのため、現時点では影響は軽微であると考えています。

また、今回の少額随意契約の拡大は、これまで入札に未参加だった中小企業や個人事業主の入札参加を促す効果が期待できますし、NJSS では随意契約情報の収集が充実しているため、競合他社に先駆けて質の高い随意契約情報を提供することで、市場での優位性を確立し、顧客満足度向上につながれると考えています。

＜当日質問＞

Q5：

横浜総合写真の買収について。

なぜフォトセグメントでの買収という判断になったのか？候補先があった中での決断だったのか？

また説明資料には優良な顧客基盤とあるが「優良」と判断する理由は？

また「両社のノウハウ融合による、新たなスクールフォト関連サービスの開発」とはどのような事を考えているのか？

A5（代表取締役社長星より回答）：

当社は現在、幼稚園保育園向け写真販売システム「えんフォト」を展開しておりますが、これを小学校・中学校へ展開し、更なる市場獲得を図ることを目的とした買収となります。横浜総合写真は神奈川県および首都圏の人口が多いエリアの学校顧客を多数有しております。今後、横浜総合写真が持つノウハウを活かし、他エリアの学校への「えんフォト」展開を目指していきたいと考えております。

Q6：

会場での株主総会の検討もお願いしたいが、経営層等と株主との対話を目的とした懇親会の開催を検討願います。

A6（代表取締役社長星より回答）：

繰り返しのご回答になりますが、バーチャル開催とリアル開催については、双方それぞれにメリット・デメリットがあると理解しております。

ご意見いただいた懇親会等の開催についても、バーチャル開催・リアル開催双方に一長一短やメリット・デメリットがあるとの理解を踏まえ、今後、株主との懇親や交流を図れるような機会を検討していきたいと考えております。

以 上

注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの基準と異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。